

## 自衛隊神奈川地方協力本部

これからを担う若者の「ハートをつかんだ！」  
～自衛隊職種説明会を実施～自衛隊の仕事に関する概要説明  
(体験談に盛りあがりを見せるひとコマ)

神奈川地方協力本部相模原地域事務所(所長 林2陸尉)は、10月21日(水)、光明学園相模原高校の1年生13人に対し「就職理解ガイダンス」の一環として、自衛隊の仕事に関する概要説明を実施した。

本ガイダンスは、毎年1年生を対象として多種多様な職業(消防、声優、パティシエなど)を紹介、当日は総勢25社が参加した。はじめは制服姿の広報官に多少緊張気味であったが、しだいに広報官の自己紹介と体験談で和んだ雰囲気の中、自衛隊の任務・特色などをスライド資料や映像を交え、やりがいや魅力を伝えた。生徒からの質問では「お給料はいくらもらっていますか」「お休みは何日もらえますか」と高校1年生らしい屈託のない質問が飛び交い、最後に広報官が作成した本番さながらのビデオ映像に熱い視線を送っていた。

「人との出会いが運命を変えます。出会いを大切に！」の広報官からのメッセージで本ガイダンスは終了した。相模原地域事務所は、「今後も、自衛隊に対する正しい理解と、近い将来この中から一人でも自衛官を志してくれることを期待し、より若者のハートをつかんでいく」としている。

陸上自衛隊高等工科学校説明会で兄と再会  
「この学校に入校したい」ほんま かいせい  
神奈川県綾瀬市 中学3年 本間 海聖

左が海聖くん 中央が参加者を案内した兄・本間太海 生徒(1学年)



学校見学の様子

神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長 酒井1海尉)に、高等工科学校説明会に参加した学生から感想文が届いたので紹介します。

私は平成27年11月28日、陸上自衛隊高等工科学校で行われた学校説明会に参加しました。説明会で受け答えをしている兄を見て、たった半年で人はこんなに変わるものなのかと思いました。質問に八キ八キと答えられている所が印象的でした。他の生徒の方も礼儀や規律ができていて凄く格好良かったです。私も規律ある人になりたいと思いました。また、私は学校見学をしているときに心に響いた掲示物がありました。そこには「男になれば」と書いてありました。普通の高校には、こんなこと絶対に書いてないだろうと思います。その掲示物を見て、この学校に入りたいという気持ちがさらに強くなりました。

日本では、東日本大震災や鬼怒川の氾濫など様々な自然災害が起こりました。鬼怒川が氾濫した時は、逃げ遅れた人を背負い、水浸しの道路を歩いている自衛官の様子をテレビで見ました。その時、私は自分も自衛官になって人の為に体を張ることができる人になりたいと思いました。だから私は、この学校に入りたいです。

## 東海大学湘南キャンパス「公務員説明会」



説明会風景

神奈川地方協力本部平塚地域事務所(所長 平1陸尉)は、12月2日(水)、東海大学湘南キャンパスにおいて、「公務員説明会」に参加し、自衛隊説明会を行った。

説明会には自衛隊の他、警察、消防、海上保安庁などの機関も参加した。事務所が開設した自衛隊のブースでは警察、消防に比べ参加学生数は少なかったものの入隊のために多くの選択の道があることや、多種多様な任務と自分の適性にあった職種が多くあること等の説明を受け、参加した学生からは将来の進路に向けた前向きな意見が多く聞かれた。

平塚地域事務所では、「今後も、自衛隊に対する正しい理解と、近い将来この中から一人でも自衛官を志願してくれることを期待し、今後も自衛隊を紹介できる場を設けていきたい」としている。